

全国の仲間との交流集会開催



リモート集会の様子

6月12日(土) 10:00より、新橋交通ビル地下会議室にて、第14回全国組織強化・拡大経験交流集会在九州からは西山(九州本部)、福崎(北九州地区本部)、香田(博多地区本部)の3名がリモートで参加しました。開会の挨拶の後、山岡弁護士(神奈川法律事務所)による労働講座「コロナ禍における労働者の権利」があり、その後のエリア報告では九州を代表し、青年部の福崎が全国の仲間に対しJR九州の異常な実態とそれに対する自身の見解について発言しました。

「**昨年の期末手当交渉に際しては、各社の経営状況を比較し、鉄道に頼らない経営を先行して進めていた九州はコロナの影響が少ない**といった旨の情報をグラフや数字など視覚に訴える工夫をして発信したところ、各職場から大きな反響があった。全九州の殆どの職場で休憩室、詰所のテレビが撤去されるなど、度が過ぎる経費削減が行われ、露骨な形で労働環境が悪化しているが、コロナ禍の今こそ不満をくみ取り、運動に繋げていく、労働組合の本来の役割が際立つ好機である。」(一部抜粋)

続いて、加入者からの報告、職場及び女性部・青年部からの報告が行われ、最後はリモートということもあり「**団結ガンバロー!**」省略のもと無事閉会しました。

青年のひとりごと

マズローの欲求5段階説という心理学上の概念があります。これは、アメリカの心理学者アブラハム・マズローが提唱した理論で、ひとことで言うと、人間の欲求は5段階のピラミッドのように構成されていて、低階層の欲求が満たされることで、より高次の階層の欲求を欲するようになるというものです。第1階層は「生理的欲求」(食事、睡眠等)、第2階層は「安全欲求」(住居、健康等)、第3階層は「社会的欲求」(所属、仲間等)、第4階層は「尊厳欲求」(承認、尊敬等)、そして第5階層に「自己実現欲求」(創造的活動)があり、会社がポエムのように謳い続ける「モチベーションUP」はこの第5階層にあたります。ご存知の通り、会社は歯の浮くような美辞麗句を駆使して、仕事に対する「モチベーション」を高めるよう私たちに迫る一方で、ベア0、ボーナスは超低額回答、休憩室のテレビ撤去、また、転勤希望調査においては有無を言わず「出向希望先」を記入させるなど、社員を「お荷物」としか思っていないような不誠実さを露わにしています。過酷な労働環境で睡眠時間も短い、食事はカップ麺ばかり、住宅ローンも払えない、社員の要求は通らない、いつ職を失うか分からない。このように、マズローの理論でいうところの「自己実現」の前提となる欲求を何一つ満たしていないような状態で「モチベーション」を上げなさいというのは、地盤が安定していない土地に家を建てさせるようなもので、常識外れもいいところですが、会社としては、事あるごとにテンプレートに沿った「感謝の言葉」を機械的に発し、社員の「やりがい」を煽るといったパフォーマンスによって全てを相殺しようという目論みだから、その図太さに辟易させられます。もはや、扱いが「パブプロフの犬」と同じ。資本の原理がどうこうではなく、正常な人間の反応として、そろそろ怒った方がいい。

○当面する行動

- 6月16日(水) 13:00~/組織交通合同対策会議 博多地区本部事務所
- 6月22日(火) 18:30~/筑紫平和センター総会 プラムカルコア